

パブリックタグの品質情報に関する検討

平成28年7月21日

■パブリックタグ設置位置の絶対位置※の精度区分を規定している

※測量法に則した地理座標による位置

水平	設置位置の精度	標高	設置位置の精度
高精度	～30cm	高精度	～0.5m
中精度	～3m	中精度	～5m
低精度	～30m	不明	上記より低精度、あるいは不明
不明	上記より低精度、あるいは不明		

■精度区分の登録は自己申告であり、登録時に確認、検証は行わない

課題

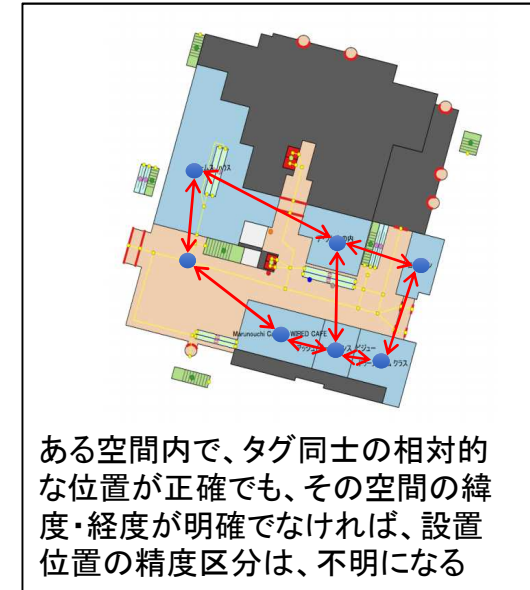
- ① 施設内等のタグ同士の相対的な位置関係に関する設置位置の精度区分がない
- ② 登録された精度区分が本当に正しいかどうかわからない
- ③ パブリックタグの可用性に関する情報がない

品質に関する情報(その1) 相対精度

課題① 施設内等でのタグ同士の相対的な位置
 関係に関する設置位置の精度区分がない



- ✓ 水平・標高の設置位置の精度区分に相対的精度の区分を設ける
- ✓ 相対的精度が明確なタグ間には、それらを抽出するための特定の文字(案:rel-ac)から始まる文字列を属性に登録する



	水平位置測定精度(必須項目)	標高位置測定精度(任意項目)	属性・キーワード
区分案	10: 絶対精度 ~30cm 20: 絶対精度 ~3m 30: 絶対精度 ~30m 90: 絶対精度 不明(もしくは低以下) 各区分+1: 相対精度 ~3cm 各区分+2: 相対精度 ~30cm 各区分+3: 相対精度 ~3m 各区分+4: 相対精度 ~30m	10: 絶対精度 ~0.5m 30: 絶対精度 ~5m 90: 絶対精度 不明(もしくは低以下) 各区分+1: 相対精度 ~5cm 各区分+2: 相対精度 ~50cm 各区分+4: 相対精度 ~5m	(相対精度が同じタグ共通に) #“rel-ac”から始まる半角16文字の任意の文字列を登録。ただし、周囲約1km四方にあるパブリックタグで、既に登録された文字列は使用できない。
	ただし、絶対精度より低い相対精度区分は存在しない 例 13:(絶対精度:30cm, 相対位置:3m) ×		

課題② 登録された精度区分が本当に正しいかどうかわからない



- ✓ 登録申請様式Bに「位置精度の信頼度」を新設
- ✓ 登録された位置精度が、自己申告によるものか、または客観性のあるものかを表す指標

	水平・標高位置測定精度の信頼度
区分案	10: 自己申告による登録
	20: 施設管理者が定める規程に基づき設置したもので検証可能なもの
	30: 公共測量の届出番号を伴う登録

品質に関する情報(その3) 可用性

課題③ パブリックタグの可用性に関する情報が無い



- ✓ 登録申請様式Bに「タグの運用区分」を新設
- ✓ タグ設置者のタグの運用ポリシーで分類
- ✓ 公開時は、利用者の視点で「可用性の指標」として公開

区分案	タグの運用区分(→可用性の指標)
	10: 管理方針等を特に定めていないタグ 20: タグ設置者が自主的に点検などの基準を定め運用しているタグ 30: タグ設置者が厳格に管理することを定められているタグ 各区分+5: 過去1ヶ月間にAPI経由で情報が取得されたタグ ※

※指標として採用する場合は、システムの改良が必要

- ✓ 「位置精度の信頼度」と「運用区分」を登録申請様式Bに必須項目として追加する
- ✓ 追加する上記2項目を検索APIで公開できるようにするためには、システム改良が必要なため、当面、CSV形式のみで提供する。
- ✓ それぞれの品質情報について、登録のし易さ、利用の有効性などを検討し、具体的な区分をVer.1.0に盛り込む